

一生産業者より致送相違に配安公園園に對する存案

平項に付て

十月分供給計画の再検討ニ付て

頭等計画は毎月十日迄に急座より現地の各店宛所へ御長  
項の急座の度種別供給計画表に基き配安計画  
を決定し原案に付ては十月分説明書に於て御座り  
「早既」の御長の中と存「主」は「少」共四十五日迄の  
見達し「少」の御長に於ては御長に於て御座り  
最も「新」に於ては御長に於て御座り  
の調整を御長に於て御座り  
以て別紙添附表に於て御長に於て御座り  
下すに付て御長に於て御座り  
甘方は右添附表に於て御長に於て御座り





山元消費、實際所費に付、其右局に於て、凡そ  
山元ハ布、草、量に副、不へ、恒宜、所、應、二、於、行、す、す  
付、す、す、マ、一、今、回、石、皮、二、片、頭、字、右、月、別、山、元、消、費  
最、低、必、要、量、の、測、査、申、越、か、り、す、一、あ、る、等、解、題、と  
し、て、し、て、直、交、に、消、費、印、成、八、十、二、分、に、織、込、入、ら、せ、  
破、片、山、元、消、費、皮、の、取、捨、り、最、低、必、要、量、を、承、知、該、皮  
毎、令、印、の、数、ハ、一、少、別、紙、様、式、に、し、て、至、急、以、記、合  
上、二、部、別、出、書、依、様、多、の、辨、方、駐、在、其、八、十、日、迎、に、御  
提、下、下、二、三、十、様、申、様、願、申、上、申、す、す、  
迎、に、御

勿々



新設

九州世第三三集

加	次	長	理	長	監	査

寫

全國 北海道 石川縣 青森縣 岩手縣 秋田縣 山形縣 宮城縣 福島縣 茨城縣 栃木縣 群馬縣 埼玉縣 千葉縣 東京都 神奈川縣 新潟縣 富山縣 石川縣 福井縣 山梨縣 長野縣 岐阜縣 愛知縣 三重縣 滋賀縣 京都府 大阪府 兵庫県 奈良縣 和歌山縣 徳島縣 香川縣 高松市 岡山府 廣島縣 山口縣 徳島縣 香川縣 高松市 岡山府 廣島縣 山口縣

百選贈唐協力会 委員長 上野石屋留表  
 百選石屋留表 委員長 (中々九州)  
 石屋留表 幹事 池田善夫 (中々九州)

昭和二十一年九月二十五日  
 九州石屋留表會館

謹啟  
 池田善夫 幹一郎

殿

九州石屋留表會館

第五回委員會議事録御送附ノ件

去ル九月二十日開催マレタ前選委員会議事録御送附紙ノ通り

御送附申上マス

17

第五回委員會議事錄

九州石炭復興會議

日時 昭和二十三年九月二十日(即舊曆十一月三日)

場所 福岡市水蒸屋八一番地 九州石炭復興委員會三階會議室

(出席者) 御厨美年 (事務局長) 小西等謙 (事務局次長) 柴田王介

(列席者) 三井三郎 麻生安太郎 山口慶八

三井隆光 栗木 幹 (林五郎) 伊藤八郎 (松尾元雄) 山口慶八

宮川敏三 (堀島 勉) 志原千秋 (宗義 忠憲) 橋下芳雄 (乃島 健次)

小室 直 (江口 茂樹) 畑田 勲 (坂古 三次) 井川 龍藏 (藤江 正泰)

(列席) 木下正男 小出敏太郎 阿久藤登 木林茂晴 坂日又喜

夏西正佐 岸山隆一郎 山口初郎 岸泉花晴

大石嘉作 (石油 邦義彦) 井上 繁男 (岡本 壽一) 古屋長實 (柴 浩)

(高工局) 島田仙助 (高松局 佐)

(佐 佐) 水野 實 渡 長 芥 一 名

九州支社技術總監 太田副會長

福岡支社 守 守 局 小川 博 課 長

井 約 十 七















度く右邊日當同辰申會候上委延知願申上付た次第てすお留中兼ねて頼願  
勞々御儀通申上打ます

敬  
具

17日 限公司



批 所 受 得 實 績 調

羽 老 保

日 與 能 希 運 物 中

昭 和 2 年 9 月 分

島 瀨 飯 集 所

品 名	種 別	電 數	前 月 末 貯 量	本 月 中 出 貨	山 元 貯 費	本 月 中 貯 量	本 月 末 貯 量	備 考
無 選 煤	煤	5		502		502		
水 洗 中 煤	煤	5		389		374	15	
蘇 州 粉	粉	9	166	2236		1878	424	100% 貯 留 = 貯 留
錦 州 粉	粉	8	73	666	140	550	149	
錫 鐵	鐵	5	6	212		212		
錫 粉	粉	5	6	570		1007	63	
特 選 石	石	3	6	1913	2869	2641	1641	500% 貯 留 = 貯 留
錫 石	石	3	7	78			78	
四 尺 切	切	1	1	304	1216	110	1093	317
合 計				2534	8660	250	8257	2687

昭 和 二 年 九 月 分 島 瀨 飯 集 所 實 績 調 批 所 受 得



15



百五第百六拾八號



郵便課 輸送課 昭和二年九月十七日

配廣公園九州支團

攻勢亭 活竹長

島 廻 岩 宛 中

補送品手送金甲宛内作

元駐米員に對しては何後、伊島宛に贈る。居ます事として  
手紙、即ち甲上です。就ききには、駐在員事務補助員と  
し、普玩の即ち撰出即ち世話類に居ます。方の七八月分  
可成り許居居券を以て、即送金甲に送す。就ききには  
同封筒に封入普玩名にて即調印の上折返し即送附  
下さる。手紙同様調封入す。

以上

所長
次長
事務長
課長
保長



13

控

島嶼報第七五號

昭和二十二年九月十八日

福岡縣田川郡川崎町  
報社石炭礦  
報社會社  
島嶼報編輯所

九州文藝  
社

宮崎縣志田元監査員の新興部に歸する件

若分報社第二一號で御面會ありました旨報の件別紙の通り御  
報甲上ます



島嶼



## 昭和22年2月末現在給与明細(役員)

福岡縣田川郡月形町  
共同石炭礦 島 福 炭 業 所  
取締役會社

姓 名	本 俸	給 当	家 族 手 当	定 額	加 算 額	全 部 手 当	年 功 手 当	小 計	前 賃 與 月 割	合 計
松本政文	555	500	450		1,08		50	2,663	250	2,913

定期昇給額-----ナ ヽ

## 昭和22年7月分給与明細(役員)

姓 名	本 俸	給 当	家 族 手 当	定 額	加 算 額	全 部 手 当	年 功 手 当	小 計	前 賃 與 月 割	合 計
松本政文	280		390					1,003,270	470	3,740

註----7月19日届で提出した給与額は前定額だったので上記7月分の通り給当手当が本俸内に入り  
家族手当が390圓に減少した、住宅手当は前年外となる、前年同様にて前年、退職の率が前額  
となるので給当額に提出した給与額を相消超過する  
前本給当額は8月に決定を見たものであります



控

12

馬志登中宛  
元和廿三年十月一日

東宮公同九州公同

其左様支却

御堂中務所

申上

元事務補助各位の年令申通の件  
其支取の二七号の取合ありしに前様御  
通の旨申知申上三下

林 甚

敬八手

藏古氏藏

廿四才


福徳縣田川郡川崎町  
若原庄後通  
書持渡御書廻鑓業所



若文書 一七七  
 國 26  
 22  
 27

去九月事務係  
 申中

立書會計係  
 昭和十二年九月  
 事務係  
 立書會計係

筑豊事務所  


并發 益々此清保の校舎令度になじ奉ります

山元事務補助員各位の年令満期社届込付

公團發の之に伴ひ山元事務補助員として業務遂行上多大なる操

助を蒙り居ります事厚く御礼申上げます

就きまゝは今度事務補助員各位の給与支給に關しまゝ

年々(般ん年)の必要につき多忙中御座り候へり左記各位

の年令至急満期初満願申上げます

記

以上

一林 董  
 一藏 本 民 藏



書文第三號

昭和廿二年八月十三日

定國若松分區(第一區)  
肥前若松分區(第一區)  
會關發願

速達

所	大
次	大
事	大
課	大
課	大
課	大
課	大
課	大
課	大
課	大
課	大

各 業 所 制 中

肥前公國九州 定國  
若松 定國  
(整理) 郵

貴國輸出ノ代取並通等ニ關スル等

御啓 生々和島昌ノ設率實候 候者  
 御案内ノ通り貴國輸出ノ物ハ輸出日帳ノ訂正ヲ取スベキ場合ハ其ノ都  
 度訂正日帳發行方御船務相願居リ候請込並往々ニシテ整理ノ便計ヲアテ  
 タル御日帳ノ訂正ヲ行ハズ現物ヲ以テ送附ニルガ如ク便法ヲ請ヒ居ラレ  
 候由多分ニ見受ケラレ申候  
 取附之ガ一例ヲ申上ダレバ左ノ如ク  
 (1) 輸出日帳ハ備具ナルモ地類等ノ現物ハ紛置ニシテ整理正當ナリレ候  
 會



訂正日報發行スル方至當ナルモ整理ノ煩雜ヲ避ケル爲後訂正ノ誤謬

ヲ避異シ、日報、田舎案内等ハ尙此ニテ整理スル。

但刊出日報ハ一〇屯ナルモ、買取家ノ受人ハ七屯ニシテ受人正當ナル

場合。

日報ノ訂正ヲ行ハス程勿又ハ後刊出物ハ一〇屯超脱シ日報ハ七屯ニ

テ整理スル。

ニシテ整理訂正後ハ結算トシ、ハ一課販立ヲ積累科セケルルモ前給ノ

如キ現物ヲ以テノ控リ繰リハ落ダ危險ニシテ間違ノ途トモ可相成、不問

白ト被存候

貴方ニ於カレテモ日報等ノ訂正ハ既提出ノ由工等毎對外國領事館等ノ訂

正又ハ運賃ノ訂正等ヲ余請ナクセラレ甚ダ煩雜ナル整理ヲ要スル事ト和

成り貴社側立論モ完全部外ニケラレモ健全ナル受給、運賃及送貨先トノ局

請ナ運給ノ保特業上異代、異給既成母、職員コヨシテ所ル體則の整理ハ

甚ダ不面目ト思料マケルルニ付、今後貴社側出資ニ關シテハ現物ト整理

出資案内ガ一致セル正端ヲ提出日報即發行相願アト共ニ斯ル訂正ヲ其ス

ベキ場合在ジ、即ハ作即手書書、郵便訂正日報側發行方轉送ノ御願カ

願上候、

若取取取取取取取取取取

敬、其



郵便課  
配達課

龍里清  
若分送給第二一號  
昭和二十二年九月五日

共同  
株式会社



文淵院宛  
笠置郡笠置所  
佐吉棟文部長  
福岡支局長  
三浦支局長  
福岡縣若松市旭小路四一番地  
配炭公團九州支局長  
(若松分室總務)ハ

拜啓 謹啓 謹しき折柄益々御清泰の事と存察致します  
貴社御推薦山元駐在員の如異調に係る件

當公團山元駐在員の新設に備しては先般來稿々御配慮に預り厚く御禮  
申上ます

茲に御報告願ひして居ります御書駐在員の貴社御在勤中の月收調は  
未だ提出のさい向もあり又調査の時期も區々で其の他種々均衡を失す  
為附があらますので正確を期する爲更めて左記に依り再び調査する事  
に致しましたから既に御提出の向も如多忙中甚だ御手致乍ら本月十五  
日迄に必着する様御指示下さい。石期日に遇れますと九月分の給料は



二十二年二月末現在給料明細(役員)

姓名	本俸	臨時手當	家族手當	留定加給	差額金	部用手當	臨時金	小計	課別	月別	合計
松橋久	550	500	450		1100		50	2650	20	2110	

定期昇給額

月日	姓名	本俸	臨時手當						合計

二十二年七月分給料明細(役員)

姓名	本俸	臨時手當	家族手當	留定加給	差額金	部用手當	臨時金	小計	課別	月別	合計
松橋久	550		450				100	1100	20	2110	

七月分給料明細(役員)の決定は、七月分の臨時手當、家族手當、留定加給、差額金、部用手當、臨時金、小計、課別、月別、合計の各欄に記入し、  
 七月分の給料明細(役員)の決定は、七月分の臨時手當、家族手當、留定加給、差額金、部用手當、臨時金、小計、課別、月別、合計の各欄に記入し、  
 七月分の給料明細(役員)の決定は、七月分の臨時手當、家族手當、留定加給、差額金、部用手當、臨時金、小計、課別、月別、合計の各欄に記入し、



八月分と同様の取扱をせねばならぬ事になり又當公團に於ける新組興  
の査定も出来兼ね何時までも滞在員各位に御迷惑を掛けることになり  
ますから事情御賢察の上何卒御協力を御願ひ致します

記

一、本年二月末日現在の個人別給料内譯明細書（賞與月額も記入の事）

一、本年三月一日以降七月末日迄に本俸の定期昇給（臨時昇給を除く）

があつた場合は其の月日と個人別昇給額

右の定期昇給に伴ひ乎當増額する場合（本俸が計算の基礎となる様

な乎當）は二月末日現在の規定にて算出した個人別賞與別金額

を賞與で獨立算拂ひ願つた本年七月分給料の個人別内譯明細書（賞與

の月額も記入の事）

何等かの都合で獨立算拂ひしてない場合は右に準じ七月分俸の事

但し右は何れも並外賃金を除くこと

以上

国  
 尾張縣  
 西 229-16  
 尾張郡 武安村  
 本郷  
 平家

若支第五一號

昭和十二年九月十一日

九支調査部、事務部  
 武安事務所、山元録在員

高 須 岡 中  
 岡 中

配炭公園九州支組  
 若松 文 部(調査員)

所 長	
次 長	
主 事	
技 士	
技 員	
保 護	

拜啓 茲、御座居の事と存じます。就而

本月の右會議につきましては去る七日附若支第四四號以御座居案内申  
 上げて置きましたので御座居の事と存じます。御座居の通り野田に於  
 しましては毎月二十日迄兵庫より現地商工局出張所へ御提出頂きまし  
 た翌々月分供給計画表に基き配炭計画を改定致して居りまじ尤が之は  
 多く奥州十日朝の見送しなる為その後の急務を繰返す本會議にて要め



て御座申上りました供給量を以て配給の調整（變更）を以て居り  
この配給調整の正確を期する爲本月以降の廻り資料御座申上り  
の御座申下さいます御座申ひ致します。

(一) 商工用炭所へ御座出の供給計書改正（餘額異出炭山炭・貯炭形  
出）と本會館に御座出の数量に差異を起した場合は

(二) 同様の如く差違は無く共済員関係又は坂内河瀬状況の變遷の爲  
内容的（量別別）に變更する場合は

(三) その他の諸般情勢に變更を要する場合は（例へば出炭に改組ははる  
り改組後、貯炭抽出に變更ある場合は）

左三項のいずれに本會館上にて供給計書可成額を御座申上の事  
向この場合は變更抽出その物詳細御座申上り申すので事情御座可成額  
は予備方式を要し御座申を御座申ひ致します。

右常用御座同也

通函

十一月分供給計画（出資、山梨、野良掘田）の商工局出張所へ未提  
出の向は當日同局より御返答がなすべしとの御通知を蒙り  
す。

再

拜





若岡第四回號

昭和十二年九月七日

九州支庁(山元駐在員)

肥後公園九州支庁  
若岡支庁(調整)

所長	佐々木
書記	佐々木
庶務	佐々木
庶務	佐々木
庶務	佐々木
庶務	佐々木
庶務	佐々木
庶務	佐々木
庶務	佐々木
庶務	佐々木

島

長瀬 御中

拜啓 益々興隆の望を賀上マヌ 願者

九月地 隔右 貴園 毎會 議會 價ノ 格  
 毎月定期會議ノ 開始ノ 任 左 記ノ 通り 開 催 致 ス 貴 園 多 忙 申 恐 縮 ツ ス ガ  
 御 出 席 ノ 願 ヒ マ ス  
 開 會 時 ハ 九 月 分 賀 時 ノ 見 送 リ 十 月 分 十 一 月 分 ノ 予 想 檢 討 シ マ ス  
 ナ 充 分 資料ヲ 御 持 込 左 願 上 マ ス

左 記

九月十八日 東方草紙 漢方御厨午 前九時  
 九月十八日 貴園草紙 貴園御厨公會堂 午前十時  
 九月三十日 田川草紙 田川御厨 午前十時

宣紙發





郵便局

九總店第三五号

昭和十二年九月四日

香切 烟 硝 業 折 股

記帳公園

九州支園

所 長	
次 長	
副 長	
課 長	



事務用 移帳並ニ包覽変更・件

今因元包、原ニ添紙之ため九月三日ヨリ新事務所ニ於テ移帳  
了スルヲ通知申上リマス

記

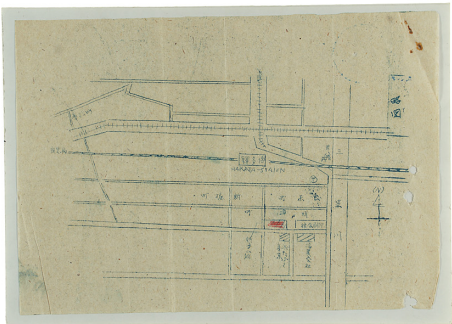
(新事務所) 福岡市朝倉町一丁目一四一

(旧事務所) ハカタ区大工町一丁目一八〇

(電話會話) 及ニ九二五(現在二回線)九三三(千回線)二七(予定)

一紙書込 福岡郵便局私書込付目一紙

一略 函 別紙ノ通り



就所受第貨積調

(1942年)

配募公團九州支團若松支団

備 中

品 類 價 額 所

昭和22年8月分

控

印

品 類	種別	等級	前月末貯炭	本月中出炭	山元消費	本月中込炭	本月末貯炭	備 考
無煙炭	♀	9		105		105		
水洗中炭	♀	5		105		105		
無煙粉	♀	8		1050		884	166	
無煙切	♀	9	6	1928	90	1771	73	
特備石	5	6	2081	2754		2922	1913	
備石	5	7	131			53	78	
四尺粉	1	8						
四尺切	1	等切	338	1088	110	1012	304	
合 計			2556	7030	200	6852	2534	

島輪炭第九號

印

5

4

第百十七號

昭和二十二年八月十一日



郵送部

第一九支線、流離事務所（伊、鹿、飯）

伊賀公團 九月期 支團

若 秋 支 部（四蓋）

田川部川部町

金一、恩、興、塊、御書

御書 金々御多謝ノ殿、御書上マス。

松テ八月定例ノ地區石炭運給會社（復済組）主催（ツ左記ノ通り開催）

ス可ニ付御多忙中、懇願ト拜ジマスガ御出席ヲ懇願ヒ申上マス。

開催日ニハ當方二十二年夏下半年期（十月一三日）ノ供給計畫ノ設定資料

ニ就シマス。ソノ重要資料見込並ニ出欠請見込及家賃ヲ各月別（銘柄別）

別不変、一本数量ニテ可但シ十月分ハ発給別短数量）ニ作成ノ上御持

込方特ニ御書上マス。

姓 名	
住 所	
印	田川部川部町
印	伊賀公團
印	九月期
印	支團
印	若 秋 支 部
印	（四蓋）



① 直方地區 十八日九時 於總局  
飯塚地區 十九日十時 於東局公會堂  
田川地區 二十日十時 於三井田川營業所 飯沼家

以  
上



日 友 (1943)

被受物買請圖

昭和22年7月分

肥前公海九州支隊 支隊 福中

島 運 價 票



品 別	種別	等級	前月末貯蔵	本月中出戻	山元消費	本月中地別	本月末貯蔵	備 考
紙 煙 紙	紙	9						
水 煙 中 規	紙	5						
紙 煙 紙	紙	2		484		484		
紙 煙 紙	紙	9	58	3184	81	3155	6	
特 備 石	石	6	1820	2479		2218	2081	
備 備 石	石	7	161	218		248	131	
四 尺 切	切	5						
四 尺 切	切	1	260	1268	110	1080	338	
合 計			2299	7635	191	7187	2556	

所長	支隊長	主任	係員



島根郵便局  
昭和二十七年七月二十八日  
庶務課

あつ井 敬  
（四）

局長 宛  
室中

郵送部  
配票部第五五九號  
昭和二十二年七月十七日

日

北九州支店 室中  
倉庫（倉）事務課  
倉庫、新田出張所

配票公署九州支店  
庶務課  
（室中）

所長	
次長	
課長	
主任	

船頭向原裝ノト陸軍使用見、台モ  
方ニ關スル也

詳悉 課者船頭向原裝ノト、貨物積ニ使テハ七割 求使用ヲ原則トシ右以  
外ノ倉庫ハ他船頭ニハ使用セザル故 陸軍向原裝積ニ使テ陸軍 最近モ依  
然トシテ港頭向ニト積重ノ積重アリ、先般ニ於ケルト積重ノ積重ハ積  
メテ至積ナル積重方ハ之ヲ他工場ヘ積重ヘル積重ノ積重ニ積重居ルモ  
積重ニ於レテ積重積重ニ積重ト積重向先ニ積重ルル場合モ可有之  
原料セケルルモ、積重積重ニ積重ト積重向先ニ積重ルル場合モ可有之  
原料セケルルモ、積重積重ニ積重ト積重向先ニ積重ルル場合モ可有之

2







日付  
30

鳥取支那

142

昭和二十二年七月十九日

福岡県福岡市  
福岡支那  
馬場町 郵便局

肥後公園九州支店 御中

石灰肥料由元販在員張屋の件

兼ねて御用會と書いて居りました官報の件別紙の通り張屋  
しますから宜しく御取訂ひ下さいます様御願ひ致します

九州石灰肥料株式会社 庶務課 課長 片岡



石見正船山元康在員旅寓

鳥取縣後所 繪 遊 係

松本 磯  
明治廿九年六月八日 文 紙

「旅 遊 記、繪 興 圖」..... 別 紙

履 歴 書

本館地 福岡縣川島郡位堂村大字清原一四一六番地  
居住所 本館地ニ全ク  
戸 三 持 買 貳 男

檢 本  
明治三十四年六月八日 文

學 歴

「大正 六年 四月 福岡縣立延福中學校入學  
「大正 九年 一月 納蘇ノダメ中延福學  
「昭和十四年 三月 島嶼國英新地延福中學校在學退學  
「官 備 ナシ  
右之通り也 延福之御也  
昭和二十二年七月十五日

右 檢 本 文

給 與 調

種 別	金 額	所 給 科 考
一 月 俸	二二八〇圓	
一 臨時生活手当	五〇〇圓	
一 家族手当	四五〇圓	
一 半 勤 手 當	一〇〇圓	
一 在 宅 手 當	五〇圓	
合 計	三三八〇圓	
一 賞 與	四七〇圓	一ヶ月當り

昭和二十二年五月十九日

福岡縣田川郡志川町  
 堀内式會社  
 馬場橋 營業所

共同印刷株式會社印刷部製

計  
 三三八〇圓



